

サポートツール実証データ

実証研究実施者	村井敏宏
区分 1	国語
区分 2	読む
領域	文章の音読
困難	漢字を含んだ文章がうまく読めない、音読が遅くなる、勝手読みをする、文章を単語のまとまりに分けることが難しい、音読を極端に嫌う
サポートツール	音声付教科書（国語、光村、2年下）
学年	2年生
試用期間	2年生・3学期
使用場所	教室
使用上の注意、条件	・学級担任に音声付教科書を貸し出し、担任の指導の下、使用した。
使用状況 ＜授業の構成等＞	放課後（週1回の補充指導） ・国語教科書音読の宿題 国語の音読の宿題をする時に、自分でペンを当てて、音声を聞きながら音読をする。スピードが追いつかない時には、再度ペンを当てて再生する。
＜子どもの様子＞	・苦手な音読に、自分から意欲的に、楽しんで取り組んでいた。
留意事項	
評価	・苦手でいやがっていた音読の宿題を、音声付教科書を取り入れることで、自分から意欲的に楽しんで取り組めるようになった。 ・ペンを当てる位置が少しずれると、前の文を読んでしまうことがあり、混乱することがあった。 ・音量、スピードのスイッチの操作が分かりにくく、2年生では操作が難しかった。

サポート・ツールの概要



サポートツール実証データ

実証研究実施者	村井敏宏
区分 1	国語
区分 2	読む
領域	文章の音読
困難	漢字を含んだ文章がうまく読めない、音読が遅くなる、勝手読みをする、文章を単語のまとまりに分けることが難しい、音読を極端に嫌う
サポートツール	音声付教科書（国語、光村、6年）
学年	6年生
試用期間	6年生・3学期
使用場所	教室
使用上の注意、条件	・本人に音声付教科書を貸し出し、学級内で自己管理させた。
使用状況 ＜授業の構成等＞	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読みが苦手なため、休み時間にイヤホンで音声を聞きながら、自分の教科書にルビをふっていく。 ・ルビをふった教科書を使って国語の授業を受ける。
＜子どもの様子＞	・国語の新しい単元の前には、教師が指示しなくても、自分から休み時間を使って教科書の漢字にルビをふっていた。
留意事項	
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・音声付教科書がない時には、教師の範読だけではルビを付けることができず、漢字の読み方を確認することがたびたびあったが、使用することで、自主的に授業に取り組めるようになった。 ・子ども自身が「国語の勉強が分かりやすくなった。」と感想を述べている。

サポート・ツールの概要



サポートツール実証データ

実証研究実施者	入江 麻子
区分 1	国語
区分 2	読む
領域	文字の音読
困難	漢字が読めない。ひらがなを読むことはできるが、たどたどしさがある。
サポートツール	音声付教科書（国語、光村、6年生）
学年	6年生 男児
試用期間	6年生・2学期、3学期
使用場所	自宅
使用上の注意・条件	児童に音声付教科書を貸し出し、児童と保護者に使い方の注意点を伝え使用した。 音声付教科書等は自己管理している。
使用状況 <授業の構成等>	自宅で学習するときに使用。 音声を聞きながら教科書に振り仮名を打ち音読の練習をしている。 文章が難しいところは、音読するときに聞きながら音読している。 文章理解に役立っている。
<子どもの様子>	授業で音読をするとき、安心して自信を持って取り組むようになった。読めない漢字へのルビうちを自分で行えるため、学習への取組が早くなった。
留意事項	
評価	・漢字が読めないことで音読に消極的だったが、人に頼らず自分で振り仮名がうつことができるようになったことで、自主的に授業に取り組めるようになった。自信を持って取り組んでいる。

全国LD親の会・実証研究

サポートツール実証データ

実証研究実施者	入江 麻子
区分 1	国語
区分 2	読む
領域	文字の音読
困難	漢字が読めない。ひらがなを読むことはできるが、たどたどしさがある。
サポートツール	音声付教科書（国語、光村、6年生）
学年	6年生 男児
試用期間	6年生・2学期、3学期
使用場所	自宅
使用上の注意・条件	児童に音声付教科書を貸し出し、児童と保護者に使い方の注意点を伝え使用した。 音声付教科書等は自己管理している。
使用状況 <授業の構成等>	自宅で学習するときに使用。 音声を聞きながら教科書に振り仮名を打ち音読の練習をしている。 文章が難しいところは、音読するときに聞きながら音読している。 文章理解に役立っている。
<子どもの様子>	授業で音読をするとき、安心して自信を持って取り組むようになった。読めない漢字へのルビうちを自分で行えるため、学習への取組が早くなった。
留意事項	
評価	・漢字が読めないことで音読に消極的だったが、人に頼らず自分で振り仮名がうつことができるようになったことで、自主的に授業に取り組めるようになった。自信を持って取り組んでいる。

全国LD親の会・実証研究